

4. 3月4日 ルクソール東岸観光

○コム・オンボ神殿



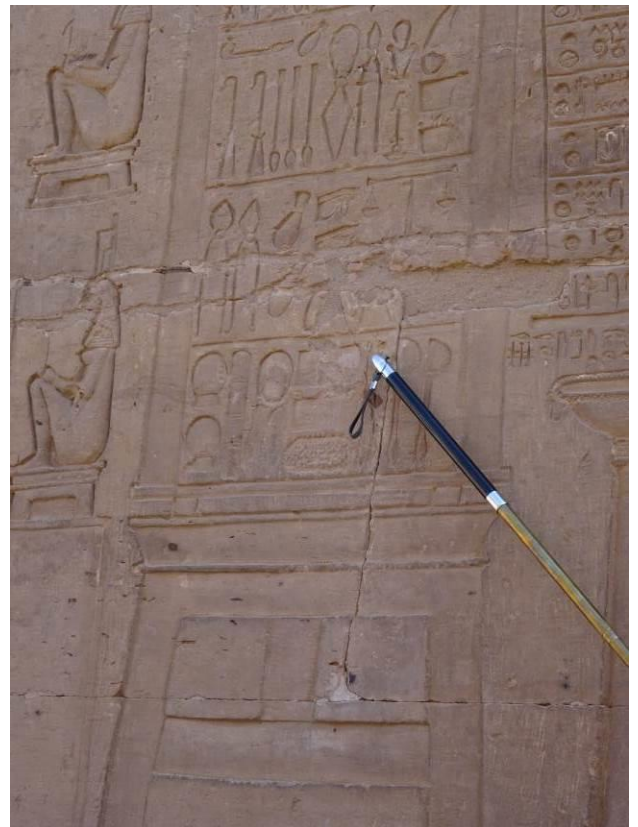
コム・オンボ神殿
二重神殿（ワニの神様とハヤブサの神様を祀る）
のため入り口が二つ



水位観測井戸（深さ5m程度）
（ナイル川と連動：作物の生育予想に利用）



最古のカレンダー



医療器具と妊婦の分娩姿
紀元前の建造物であり、すでにこのような技術を築いていた先進地が、現在では経済危機状態・・・



I have a hub でなく “cobra?”
(見事に調教されていた)



遺跡を守るための外壁（日干し煉瓦で構築）
外壁頭部の小ドームは監視小屋



監視員に隠れてツーショット（1ドル）
業務以外のアルバイトは禁止されている模様だが、
生活のため・・・

○ホルス神殿



ホルス神殿 (砂に埋もれていたものを掘り出した)



かつてのキリスト教徒によるレリーフ破壊跡
…主に顔の部分の削り落としている



聖船



彩色がほとんど消滅



港から神殿まで馬車で往復
(ここでも度重なるチップを要求された)

5. 3月5日 ルクソール西岸観光

○王家の谷（ツタンカーメン等、王や貴族の墓地：撮影禁止区域）

斜め下方に岩盤をくりぬき埋葬部屋等を構築。特にネフェルタリ王妃の墓は保存（彩色）状態がよく、見学時間も制限されている。



谷入り口付近（撮影禁止区域）



脆弱な露岩



山頂部（ピラミッド状）



岩盤に掘られた墓穴群



地層の大きな傾き（断層？：古代エジプトの遺跡の一部は地震により破壊された）

○ハトシェプト女王葬祭殿 ……気温は 30° でも湿度が低いため、ほとんど汗をかかない。



ハトシェプト女王葬祭殿（王家の谷の裏側）
かつて、イスラム集団による観光客へのテロ（63名死亡）が発生した場所。



祭殿へのスロープ
（模型で復元された出雲大社神殿への階段に似る…）



広大な敷地（左奥に広場外壁と入場門？の残骸）、遠方がルクソール市街地



メムノンの巨像（石灰岩？）
石材として持ち去られるなど、損傷が激しい





農業国エジプト：馬車でサトウキビを運搬する風景ぐらいしか見られなかったが、後に示すサークルピボット方式による灌漑農業など、先進的取り組みが行われている模様



椰子の根元：水気が少ないため無数の髭根が発達？



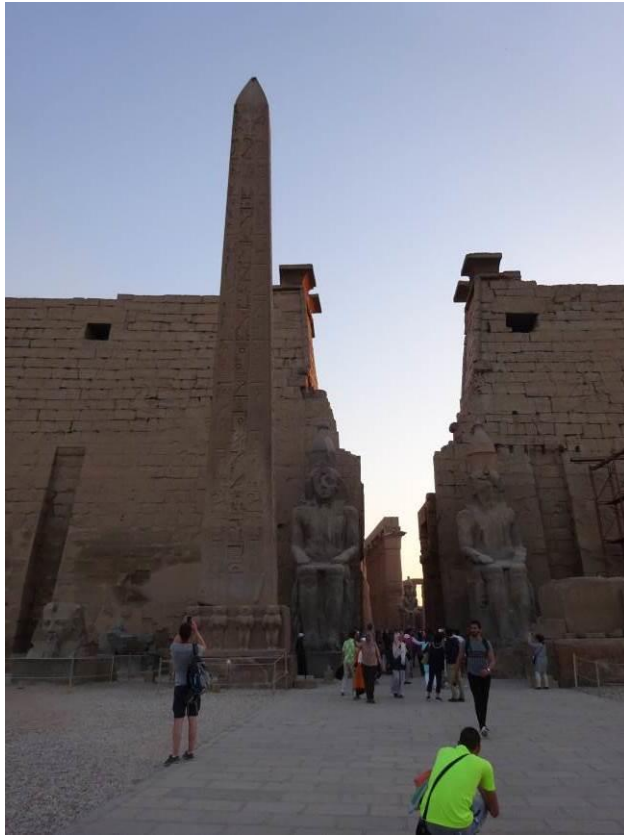
ナイル川西岸から東岸へボートで移動



同左，対岸にルクソール神殿のオベリスクが見える

6. 3月6日

○ルクソール神殿



神殿正面のオベリスク（高さ 25m）：右側にあったものはパリ（コンコルド広場）へ



短柱状のものを積み重ねた柱



夜景

○カルナック神殿（ルクソール神殿とともにナイル川に沿って建てられている）



カルナック神殿



屋根はほとんど失っているが、光が差し込むように工夫がなされている



神殿模型：東西 540m、南北 600m の周壁で囲まれた世界最大の神殿建造物



神殿の構築方法：写真のように積み上げた日干し煉瓦を利用して組み立てた模様。ここではなぜか後片付けができていないか、建築途中であったか……

○空路カイロへ



ワジ



ナイル川



ピボットサークル？
(クロープサークル，グリーンサークル)
サークルセンターの井戸を利用して灌漑する砂漠地帯での緑化／栽培方法。
アメリカではサークル半径 400～1km. 肥料を混入後，自走式の散水管で圧送.

○カイロ：ハンハリーリ・バザール散策





土木作業用道具：万国共通？



庭木

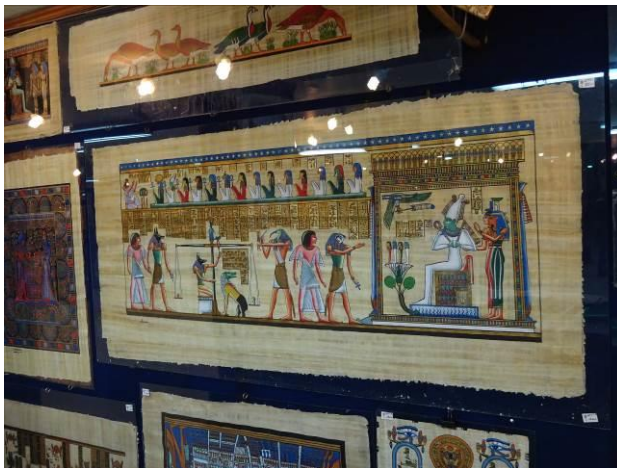
イスラム教徒の国であり、外国人が利用する施設等以外でのアルコール類はないようであるが、他国ほど厳しくないとのこと。
料理は全般に砂糖をまぶしたようなものが多く、合わなかった。
ただし、20年前頃日本で普及が進められたモロヘイヤの原産地であり、そのスープは逸品であった。

○パピルス（唯一の専門店）



紙の作り方：茎の皮をむいて中の柔らかい繊維質のものを水に浸した後、平織り状に編む。最後に重し等で脱水し、最古の紙が完成。

水に浸せば元に戻すことができる。現在のパピルスはほとんどが栽培によるもの。



パピルスに画かれた作品

7. 3月7日 カイロ：ギザ地区



宿泊ホテルからのピラミッド



三大ピラミッド
傾斜 52° , 高さ 146m (最大)



クフ王のピラミッド. 中央付近の穴は盗掘跡. 右下の穴より内部 (中央) に至る通路有り.
表面は石灰岩のようであるが, 通路周辺は花崗岩で構成され, 斜め状態に組まれている. 石の隙間はほとんどなく, 極めて精密!...日本の石垣のような隙間はない.
一生懸命, 内部中央を目指して上ったが最後は空洞しかなかった.



カフラー王のピラミッド: 他のピラミッドも含め, 表面は石灰岩の化粧板で覆われていたが (単斜面状), 頂部付近を残しほとんど持ち去られる... (別の説有り).
酸性雨で溶けるように思われるが, ほとんど雨が降らないのでその可能性も低い...



馬より背が高いので, ラクダに跪いてもらう...
立ち上がる時は大きく揺れるため, 鞍の把手をしっかりと握って...

○太陽の船博物館



ピラミッドの横に埋葬されていた船の部材を復元したもの
全長42m, レバノンスギ? (マツ科) 使用, ロープは麻等...

建築, 医療, 航海術...
古代エジプトはすごい!

○スフィンクス



石灰岩(数十センチ単位の互層)をくりぬいたもの. 脆弱層を介在するため, 特にあごひげは落ちた模様
...我々のみ特別に立ち入り許可を得た. 像の修復作業が行われており, 撮影しないよう注意を受けた.



テーブル



花壇の灌水設備

○エジプト考古学博物館



ミイラは人間のみと思いきや、神とみなされる動物、家族同然に可愛がった猫等、すべてミイラ化して丁寧に埋葬する風習があったようである。



医療器具（青銅器）

8. 3月8日 成田着

今回は前期高齢者入りを目前に、さすがに疲れた。風邪による体調不良を乗り越えて帰国したが、ラクダ接触による MERS 感染もないようである。帰国時の、中東からの帰国者への注意を呼びかける案内には一瞬不安がよぎったが・・・